

社員が自身の能力向上と業務改善を意識して、業務に従事していることがよくわかった。会社として大きな自信につながった。

甲西高周波工業株式会社（滋賀県湖南市）

令和2年度から生産性向上支援訓練（オープンコース）を、令和3年度から生産性向上支援訓練（オーダーコース）を利用された甲西高周波工業株式会社の代表取締役社長 佐々木 正宏 様に、生産性向上や人材育成の取組、受講内容の活用について、お話を伺いました。

◇事業内容は？

一高周波焼入れ焼き戻し、浸炭焼入れ焼き戻し、不活性ガス雰囲気炉中高周波精密部分ロー付け加工と、誘導子の設計製造販売です。焼入温度、焼入れ深さは、永年の技術の蓄積により、周波数の選定、装置の制御機構で安定した条件設定ができます。チャンバーを含む高周波ロー付け設備は、自社で設計製造しています。

高周波焼入れ、高周波精密部分ロー付けなど卓越した技術で、お客様のニーズに応えます。

地域やアジアの中小企業の活性化に貢献するため、海外にも事業を展開し、1993年以降、タイ、インドネシア、ベトナムに工場を開設しました。



（左）高周波誘導定置加熱 （右）高周波焼入れ自動ライン：甲西高周波工業株式会社様ご提供）

◇人材育成の取組は？

－全体では、社業を通じて必要な時に教育【共育】の機会を設け、実施しています。課題ごとの定期研修と、階層別の知識・技能などの向上を図るための内部・外部の研修を含めた育成活動を行っています。

◇ご利用のきっかけは？

－生産性をより効果的に向上させるにあたって、まずは現場力を高めたいと考えていたところ、ポリテクセンター滋賀様より生産性向上支援訓練の案内があり、親身になってプログラムを準備していただきました。

◇ご感想は？

－受講者を募ったところ、対象者とする社員のほとんどが受講を希望しました。社員が、自身の能力向上と業務改善を意識して、業務に従事していることがよくわかりました。社員に対し、更に信頼度が増し、会社として大きな自信につながりました。

◇訓練内容のご活用は？

－効果的な組織が確立できるよう、役割の認識と個々の能力を見極め、会社としてサポートしながら社員の能力が十分に発揮できるよう、職場改善に活かしたいです。

． ． ． ． ． ． ． ． ．

受講された従業員の方に、感想や訓練内容の活用について、お話を伺いました。

◇◆◇ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 ◇◆◇

事業経営担当 Y. U 様

－個人のレベルを上げ、一緒に具現化していく仲間が必要だなと感じました。また、イメージしていたものを具体的に実行していかなければならないと強く感じました。経費削減計画に改善課題として、DXの推進を挙げています。課題山積ですが、具体的に行動していきます。



（受講風景：講義）

◇営業技術グループ 試作、量産製品立上げ A. S 様

—デジタル技術を用いた業務の改善や企業の変革が可能な手段を学びました。デジタル化といえばペーパーレスと、単純に思っておりましたが、それは初歩的なことで、データなどあらゆる情報をデジタル化し、共有することで、業務効率が向上し、業績にも繋がっていくことを学びました。現在まで業務としてやっていた内容について、常にこれで良いのか考え、デジタル化の導入を意識して業務に従事したいと思います。

◇加工業務管理監督担当 M. S 様

—DX 化を推進・導入することで、業務の作業性が向上することが実感できました。現状にとらわれることなく、大きく変革し、生き残っていける会社にしていきたいと感じました。業務内容を分析し、デジタル技術を活用し、現状を変えていくことに活かしたいです。

◇加工工場管理担当 N. M 様

—DX 化とは、単純にアナログをデジタルに変換させるだけではなく、内部から変化させる考え方に奥の深さを感じました。DX 化を推進します。まずはデジタル化を進めます。

◇加工グループ 加工業務担当 N. O 様

—馴染みの薄い DX についての知識を得られる良い機会となりました。実例なども踏まえ、実際に導入した場合の状況を理解できる内容でした。電子化などが、実際の作業工程において可能か検証し、取り入れられるか考えたいです。

◇品質保証グループ 品質管理担当 T. I 様

—DX 化に向けて、目標とする構想の考え方を実習を交えて考えることで、現在の状態から、何が必要かを見直すことができました。現在の非デジタル業務の分析を行い、デジタル化、DX 化を進めていきたいです。

◇◆◇ 職場のリーダーに求められる統率力の向上 ◇◆◇

◇事業経営担当 K. S 様

—組織として活動することが、企業と個人に最も良い結果を導くと認識しました。各自の役割を再認識し、それらを果たすための基本行動の教育と、共通の目的を明確にし、組織力を最大限活かしたいです。

営業技術グループ

営業技術管理担当 H. O 様

—リーダーの役割として、自らの行動基準を持ち、問題解決していく大切さを学びました。SDGs について、具体的な内容やなぜ必要なのかということ学びました。自ら行動を起こし、問題解決していくよう取り組みます。



(受講風景：グループワーク)

◇加工グループ 加工業務管理監督担当 S. S 様

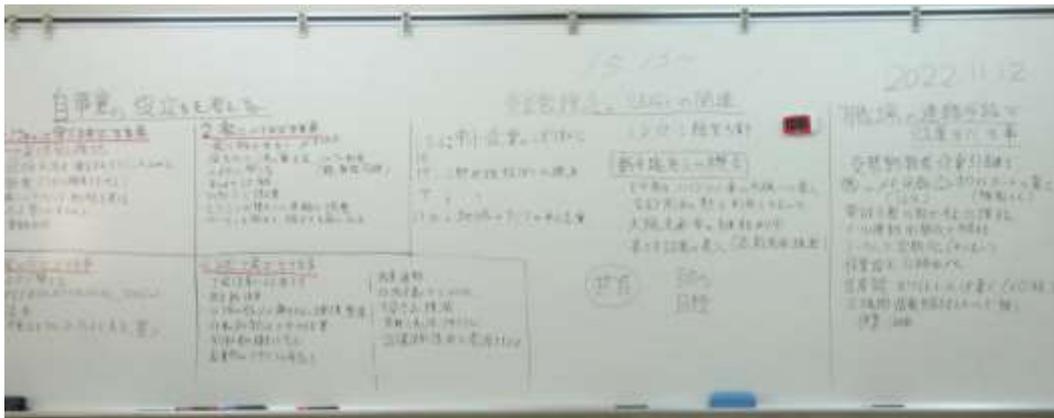
—リーダーとはどういうものか、そこまで深く考えたことがなかったので、具体的に勉強できて良かったです。コミュニケーションや指示等に活かされていると思います。

◇加工グループ 加工業務担当 S. A 様

—非常に良かったです。普段意識できていなかったことに気付ける機会になりました。訓練で学んだことを常に意識し、考えて仕事に取り組むよう努めています。

◇品質保証グループ 品質保証管理担当 J. K 様

—真の統率力は、コミュニケーションから生まれ、部下のモチベーションを向上させ、成長を促すことができます。ほめる言葉やモチベーションが上がる話を常に頭にストックしておきます。



(グループワーク：自事業の振り返り、経営理念とSDGsの関連、職場の情報伝達について討議)

• • • • • • • • • •

◇ご利用のコース

【オーダーコース】

(令和5年度)

- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ・フォローシップによる組織力の向上（予定）

(令和4年度)

- ・現場社員のための組織行動力向上
- ・職場のリーダーに求められる統率力の向上

(令和3年度)

- ・組織力強化のための管理
- ・生産現場の問題解決

【オープンコース】

(令和2年度)

生産現場の問題解決、品質管理基本、品質管理実践、企業価値を上げるための財務管理、企画力向上のための論理的思考法、プロジェクト管理技法の向上、効果的なOJTを実施するための指導法、フォローシップによる組織力の向上、相手に伝わるプレゼン資料作成



(受講風景：甲西高周波工業株式会社様ご提供)

◇会社概要

事業内容 金属熱処理業

高周波焼入焼き戻し、高周波精密部分ロー付け、浸炭焼入れ

所在地 (本社・湖南工場) 滋賀県湖南市石部北5丁目6番5号

創業 1982年(設立 2004年)

従業員数 44名(2023年9月現在)



(伊賀工場：甲西高周波工業株式会社様ご提供)

10名様以上お申し込みなら、「オーダーコース」

- 貴社の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズできます。
- 講師を派遣し、貴社の会議室等で開催できます。
- 実施日時や訓練時間のご要望を承ります。
- ご相談から開催まで3か月程度要します。まずは、ご相談ください。

※予算に限りがあるため、ご要望に添えないこともあります。

公募しているコースで1名様からお申し込みいただける「オープンコース」、動画視聴によるeラーニング形式の「サブスクリプション型」もあります。詳しくは、ホームページをご参照ください。

(2023年11月)